

◎平成23年度予算編成方針について

問 予算編成にあたり、市長の基本的な考えは。

答 行政運営の無駄を排除すべく、全事業の見直しを行う。また、市民と行政のパートナーシップの推進、農を活かしたまちづくりの推進、広域連携の推進を重点的な取り組みとした上で、市民目線に立ち、市の将来像である日本一健康文化都市の実現を目指す。

問 今年度及び来年度の税収見通しは。

答 平成22年度の税収見通しは、法人市民税は予算額に対し5億円増の13億円程度、個人市民税や固定資産税は1億円強の減少と見込んでいる。来年度の税収見通しは、法人市民税は12億円程度、個人市民税は、本年度収入よりも若干下回ると予想している。

◎災害ボランティア支援について

問 災害ボランティア本部への理解度及び責任の所在、支援体制はどうか。

答 本部は、災害ボランティアコーディネーターの活動拠点として、大変重要であると認識している。また、活動の最終的責任は市の災害対策本部にある。今後、災害ボランティア養成講座のPRや、市民への啓発を行っていく。



重要な役割をもつ災害ボランティア本部

市政に対する一般質問

よりよいまちづくりをめざして

◎キャリア教育への取り組みについて

問 計画的・継続的実践に向けた、小・中・高の連携に対し、どう取り組んでいるか。

答 まずは、幼・小・中の連続性を意識して、あいさつから始まるコミュニケーション能力の育成など、日常の中で無理なく取り組めることから進めていく。また、高校でのキャリア教育の課題を共有化するためにも、中高連絡会の中で情報交換を進めていく。

問 職場体験学習の成果を、異学年交流の中で報告する場が必要ではないか。

答 各中学校では、小学校を訪問し、合唱発表や学習の成果を披露する活動を行っているが、職場体験学習の良さや成果を伝えていくことも大切であることから、場を設けるよう検討していく。

◎生活交通づくりへの取り組みは

問 自主運行バスの運行方式が地域に支援されるためには、いま一度、準備検討する期間を設置すべきでは。

答 アンケート調査や利用者からの聞き取り調査、外部有識者の助言等を踏まえ、いま一度反省・検証し、新しい路線の設定に対し、最大限取り組んでいく。



新路線が検討されている自主運行バス